

リトル・プリンセス (1995)

A LITTLE PRINCESS

メディア 映画
ジャンル ファミリー
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 97分
初公開日 1995/12/16
公開情報 WB

【解説】

バーネットの不朽の名作『少公女』の映画化。母親を亡くし、父親のクルー大尉の深い愛情を受けて育った少女セーラは、父の任地であるインドで幸福に暮らしていた。しかし、父が戦地に赴くことになった為、彼女はニューヨークの厳格な寄宿学校に入学することになってしまう。最初はインドでのびのびと自由に暮らしてきた天真爛漫な性格の為、独裁者の様な女校長ミス・ミンチンや、クラスメートたちを戸惑わせていた彼女だったが、次第にその魅力で周囲とも打ち解けてきたその頃、彼女の元に父が戦地で死んだという知らせが届く……。映画の出来自体は、やはり子供向けと言わざるをえないが、全体を覆う重々しくて優雅、且つ豪華な美術は非常に完成度が高い。特に、寄宿学校の四方の壁・窓の日除け・布貼りをした調度品から、少女たちの着る制服に至るまでグリーンで統一した色使いや、主人公セーラが架空の物語を語る幻想的なシーンなどは、大人が観ても十分鑑賞に耐えうる、素晴らしい出来ばえである。主人公のセーラを演じるリーセル・マシューズの愛らしい演技が実に魅力的で、そういう意味で言えば老若男女が色々な楽しみ方で鑑賞出来る作品と言える。

【クレジット】

監督	アルフォンソ・キュアロン	Alfonso Cuaron
製作	マーク・ジョンソン	Mark Johnson
原作	フランシス・ホジソン・バーネット	Frances Hodgson Burnett
脚本	リチャード・ラグラヴェネーズ エリザベス・チャンドラー	Richard LaGravenese Elizabeth Chandler
撮影	エマニュエル・ルベツキ	Emmanuel Lubezki
音楽	パトリック・ドイル	Patrick Doyle
出演	リーセル・マシューズ エレノア・ブロン リーアム・カニンガム ヴァネッサ・リー・チェスター ラスティ・シュウィマー アーサー・マレット ラヒ・アジジ	Liesel Matthews Eleanor Bron Liam Cunningham Vanessa Lee Chester Rusty Schwimmer Arthur Malet